

**基本管理の徹底によるデコポン産地の技術力向上対策
(天草)**

天草地域における今年産の加温栽培不知火類は、園地により多少着果のバラツキは見られますが、全体的に十分な着果数を確保できていると、順調に生育しています（JA本渡五和 予想生産量前年対比：130%）。そのため、連年安定・大玉果生産を図るためには、「摘果作業の徹底」が課題となっています。

そこで、6月7日に、JA本渡五和施設デコポン部の加温栽培生産者を対象とした摘果検討会を開催しました。本検討会では、参加者全員のほ場毎に着果量の基準となる見本樹を作成し、この見本樹をもとに園地全体の適正着果の指導を図りました。また、本検討会を通して生産者同士が互いの園地状態を確認し合い、技術力の高い生産者が若手生産者にアドバイスをするなど、技術研鑽・情報共有の場としても活用できました。

今後も当課では、関係機関・生産者と一体となって、基本管理の徹底を図るとともに、産地全体の技術力向上を支援していきます。



摘果検討会の様子

種類：普及活動の成果

関連普及課題名：一般活動

HP掲載可否：可

連絡先：天草広域本部農業普及・振興課

果樹産地づくり支援班

名前：丸山隆太郎